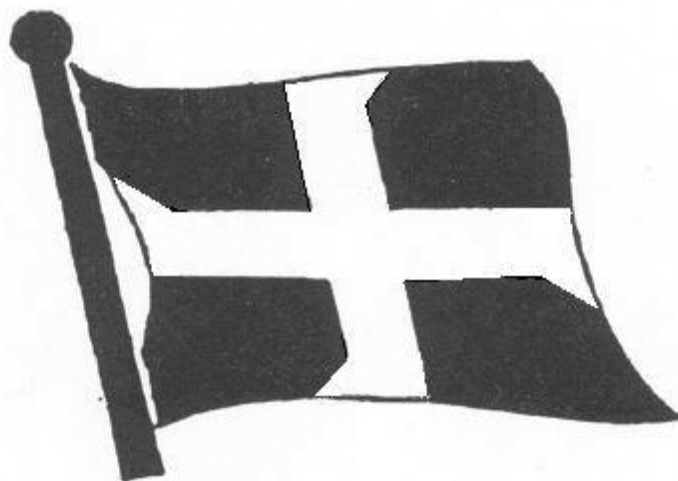


蒼穹 NEWS

No.1

関西インカレ展望号

令和5(2023)年 5月19日発行



—目次—

- ②主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- ②関西インカレ展望
- ③関西インカレ日程
- ④関西インカレロードの部結果

①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

第100回の記念大会となります今年関西インカレのT&Fの部は5月24日(水)から27日(土)にかけて6年ぶりにヤンマースタジアム長居をメイン会場に行われます。

京都大学陸上競技部の目標は男女総合65点です。男女を問わずチーム一丸となって関西インカレに向かっていけるよう、そして、昨年の関西インカレで獲得した得点(65点)を超えて、京大が「関西の中堅校」という位置に君臨することができるよう、この目標を掲げて練習を続けて参りました。

今年は春先から非常に多くの部員が自己ベスト・大学ベストを更新し、新たに関西インカレ標準記録を突破した部員も多く見られました。また、先月の京都インカレでは目標としていた90点を上回り、女子は対校3位を獲得し、チームとして幸先の良いシーズンインができています。一方で、関西インカレは一筋縄では行かない試合であり、先日開催されたロードの部で獲得した5点を合わせても事前ランキング通りに得点を重ねただけでは、目標を達成することは疎か、男子においては、1部残留も予断を許さない状況にあります。

目標達成に向い、我々にできることは、一心不乱に練習に励み、春先以来の良い流れを加速させるとともに、マイナスとなり得る一切の詰め甘さを排除することです。選手はもちろんのことながら、部員一人ひとりが1点を積み上げる、積み上げさせる努力をして、当日はなんとしてでも目標を達成致します。

4日間の長丁場で、うち3日間が平日開催という日程ではございますが、蒼穹会の皆様におかれましては、是非とも競技場まで足を運んで頂き、これまでの取り組みの成果をご覧いただきたいです。ご多忙の中大変恐縮ではございますが、ご声援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将 齋藤 啓

《女子主将挨拶》

今年関西インカレでは、「男女総合65点」を目標としています。多くの方々のご尽力の末、ようやく他大学に通う部員と練習することができるようになり、これまで選手やマネージャー、トレーナー全員で懸命に練習に励んで参りました。女子チームはPBやUBの更新、さらに京大陸上

部の歴史を大きく変えるような好記録を数々出してきました。京都インカレでは、強豪校に果敢に挑み、女子総合 3 位という成績を取ることができました。昨年の関西インカレでは、女子チームも大量得点を成し遂げましたが、今年も入賞を狙える選手が複数おり、エントリー数も戦力も歴代最高レベルです。レベルアップし続けている女子チームの姿をぜひご覧ください。

蒼穹会の皆様には、日頃より多大なるご支援ご声援を頂き誠に有難うございます。今大会は 4 年ぶりに本来の形で開催されます。お暑い中、ご多忙ではあるかと思いますが、競技場の方に足を運んで頂きたく思います。何卒、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部女子主将 三好 紗椰

《監督挨拶》

昨年度に引き続き、今年度も関西インカレが 5 月に開催されます。100 回記念大会、集団声援の解禁、3 年前にも予定されていたヤンマースタジアムでの開催など、今年度の関西インカレはコロナウイルス感染症を乗り越えた証として、多くの人にとって意味のある大会になるでしょう。

さて、今年度の目標は「男女総合65点」を掲げています。男子については一部残留が危ぶまれる中でも高みを目指した目標を掲げ続け、多くの選手が成長を遂げこの関西インカレを迎えようとしています。また、女子は過去最多人数がエントリーするなど、勢いは申し分ありません。中でも依然として事前ランキングでは我々はとても厳しい状況に立っています。しかしながら、必ずやこの状況を打開し飛躍する姿をお見せいたします。事前の予測では男子は長距離・跳躍、女子は投擲に得点が偏っていますが、他種目やリレーでも十分に入賞を狙える位置にまで回生問わず力をつけて参りました。当日はぜひともご期待ください。

最後になりますが、蒼穹会の皆様には日頃より多大なるご支援、ご声援を頂き誠にありがとうございます。ご多忙とは存じますが、ぜひ競技場にて直接ご声援をいただきますようお願いいたします。

京都大学陸上競技部監督 仲村 快太

②関西インカレ展望

第100回関西学生陸上競技対校選手権大会
(T&Fの部)

2023年5月24日－27日(水－土)

於ヤンマースタジアム長居

～短距離(短短)～

男子100m

男子100mからは、3回生高田が出場する。

高田はシーズン初戦から安定して好記録を連発しており、なおかつ京都インカレでの4位入賞という結果が示しているように、試合における勝負強さも兼ね備えている。エントリーランキング上では準決勝進出ラインが10.63となっているが、勢いはもちろん、記録以上の強さを持っていると思うので、準決勝進出更にはその上の結果を目指して、1日目からチームの勢いになるような走りを期待したい。

男子4×100mR

○藤田(M2)→高田(3)→高橋(2)→石原(2)

男子4継は、現時点での走順は、藤田(M2)→高田(3)→高橋(2)→石原(2)である。京カレ以降、リレーメンバー全員が着実に力をつけて10秒8前後で4枚揃えることが出来た。他校の実力そのものは侮れないが、5番手以降が40秒前半あたりで拮抗している中で、バトンの精度次第では十分に決勝を狙える位置にある。これからバトン練習にこれまで以上に力を入れて取り組むつもりなので、関カレ当日は念願の決勝進出、そして決勝での得点を目指す。

女子100m



京都ICで三位入賞を果たした三好(中央)

女子100mからは、4回生三好が出場する。

三好はシーズン初戦となった京カレ以降、安定してベストに近い水準のタイムを出し続けており、昨シーズンより確実に力をつけている。直近では長らく更新出来ていなかった練習でのベストタイムも更新できるようになり、春先よりも更に力をつけていると思うので、12秒前半を目標に、チームそして自分自身にとって勢いとなるような結果を出してほしいと思う。

女子200m

女子200mからは4回生三好、2回生齋藤が出場する。

三好は、京都インカレで大幅にベストを更新してエントリーランキングでは33番となっており、最大24人がいける準決勝出場を本人は目標としている。目標達成に十分な実力をつけているため、対校戦での勝負強さを最大限発揮して、本人にとって4回目の関西インカレにして初の準決勝進出を成し遂げてほしいと思う。

齋藤も今シーズンの京カレで大学ベストを更新し、着実に力をつけてきている。足の怪我からの復帰の段階でなおかつ多種目出場となる中で本人にとって難しい部分もあると思うが、初めての関西インカレなので、1つ1つのレースを堂々と走って、今後に繋がるようなものにしてほしいと思う。

女子4×100mR

○森尾(4)→齋藤(2)→平岡(3)→三好(4)

女子4継は、現時点での走順は、森尾(4)→齋藤(2)→平岡(3)→三好(4)である。これまで女子リレーチームとして、メンバーの入れ替えや走順変更など試行錯誤しながら試合経験を重ねてきた。その中でも安定して50秒フラットに近い記録を出せるようになってきて力をつけてきている。バトンでの課題は明らかになってきていて、そこを本番までに修正し、なおかつ全員の調子を本番に合わせる事が出来たら確

実に 49 秒台は出ると思う。当日はチームの勢いになるような結果を出して、七大戦など今後の対校戦に自信となるようなレースにしてほしい。

(藤浦)

～短距離(短長)～

男子4×400mR

○益田(3)→高橋(2)→岩崎(4)→岩本(3)

男子 4×400m リレーの目標は決勝進出。ランキング 6 位までの上位校とはややタイムがかけ離れており、7,8 位の阪大、同志社、加えて龍谷大等を崩せるかどうかがかぎになってくる。

益田に関しては、コンディションに恵まれず 400m での B 標切りはならなかったものの、シーズンインの連戦を走り抜いた気力、また連戦の中でも PB を更新したことは当人の修正力の賜物である。練習タイムを見ても徐々に仕上がってきている様子がかがえる。持前の精神力を存分に活かしてほしい。

高橋に関しては、冬期ではケガが重なり思うように練習が積めず、3,4 月の記録会でも少々不調気味であったが、気持ちを乗せていくのが難しい状況の中でも、上を見てひたむきに練習に取り組む姿勢が多く見られており、心配はしていない。多種目出場に伴い、各方面から多くの期待が寄せられており、その分プレッシャーもとても大きいと思うが、その期待の大きさは本人の実力を信頼しているからこそこのことであると考えられる。自分を信じて、攻めの走りをしてほしい。



多種目での活躍が期待される高橋(2)

岩崎に関しては、大ケガで負傷してから走りのリズ

ムを崩していたものの、この頃は復調の兆しを見せてきている。しばしばネガティブ発言が目立つが、48 秒台も狙えるポテンシャルはあるはず。信頼しているので胸を張って走ってきてほしい。

岩本に関しては、初戦での PB 更新はさすがの一言である。試合での勝負強さは短長の中でも随一といっても過言ではない。練習も試合も量という観点では積めているわけではないものの、それでも記録は狙えることは先日の記録会において自分自身で示してくれた。食欲に攻めてほしい。

女子4×400mR

○メンバーは現在協議中

女子 4×400m リレーの目標は 3 分台。400m の記録会出場数が少ないため客観的に意見することはやや難しいが、ひとつ言えることは、短距離女子をはじめとした女子リレーチームの結束力、団結さは部内でも随一であるということ。パートのメニューが終わったあとも皆で遅くまで補強なり動きの追求なりを繰り返していた姿がとても印象に残っている。各々の専門種目では好記録を出している選手が多いため、マイルも十分に期待がもてる。極論 400m は気合いなので、気合いで頑張してほしい。

女子 400m

女子 400m には齋藤(2)が出場する。ケガ明けで練習詰めていないため、不安も大きいところだと思うが、練習が詰めていなくてもなんとかかなるときはなんとかかなるし、先日の岩本などが特に象徴的だと思う。無駄な力を使わないきれいな走りなので、一本走りきることは十分大丈夫だと思う。PB 更新を目指して頑張ってきてほしい。

(木之下)

～ハードル～

男子 110mH

男子 110mH には酒井(M2)が出場する。尚、永田(M2)は学会発表のため欠場する。酒井は今シーズン追い風参考を含め 14 秒台を既に 3 度出しており好調である。最近膝裏の負傷によりスピードを出した練習ができていないが、残りの日数でピークを合

わせて永田が持つ蒼穹3位の14.81を塗り替えてほしい。

男子400mH

男子400mHには岩崎、高橋が出場する。

岩崎は今シーズン比較的調子がよく53秒前半を出す力はあるが、決勝に残るのは厳しいので、まずは自身の目標である蒼穹5位53.26を目指す。

高橋においては、資格記録は52.23であるが、51秒台を出す実力があるのでしっかり決勝に残って得点をもぎ取ってほしい。

女子100mH

女子100mHには平岡が出場する。平岡は最近ハードルを跳ぶためのいいイメージがなくなり、模索中ではあるが、対校戦には人一倍強い選手であるので、本番までにいいイメージを作り、京大初の14秒台を出してほしい。



秋に蒼穹記録を塗り替えた平岡(3)

～中距離～

男子800m

男子800mには平山(3)と阿部(1)が出場する。平山は4月に自己ベストを大きく更新し、中距離の勢いの中心ともいえる選手である。勝負所での強さが光る選手であり、この大一番でも健闘が期待できる。

阿部は新生であり、調子は半分程度しか戻っていないが、5月に入ってから練習の要所要所でポテンシャルが垣間見れる。自分の走りがどれだけ関西のトップに通じるか、これからに向けての試金石として欲しい。

男子1500m

男子1500mには西川(3)が出場する。西川はこれまで学部生のエースとして対校戦を戦い続けてきた選手であり、経験は申し分ない。直前になり調子が上向いてきており、本人も目標としている入賞への可能性は多分に出てきている。気迫のこもった走りで大を蹴散らしてきて欲しい。



昨年のリベンジに燃えるエース平山(3)

女子800m

女子800mには小坂(M2)、小倉(2)が出場する。小坂は今年3月に8年ぶりの自己ベストを更新した。その際のレースは単独走であり、またコンディションの悪いレースにおいても同様の水準の記録をマークしていることから、実力は持ちタイムより上にあると考えられる。ラストシーズンの最後の関西インカレ、悔いのないように走り切って欲しい。

小倉は春先に走練習を再開して以来、急激に調子を上げ、自己ベスト付近まで力をつけてきた。直近は怪我によりあまり走れていないが、落ち着いて自分のレースをして自己ベスト更新を目指したい。

女子1500m

女子1500mには、小島(M2)、小坂(M2)、濱口(1)、京女から奥田(4)が出場する。小島は今年4度のPB、京大新を更新し、実力については説明するまでもない。ラストシーズンの勝負所、気迫のこもったレースでチームに得点をもたらして欲しい。

小坂は800mに集中するため棄権の可能性が高い。

濱口は1回生ながら持ちタイムは最も高い。M2のお姉様方の背中や大学で戦っていく相手を見て、今後エースとなっていく上での糧にして欲しい。

奥田は昨年競技復帰してからぐんぐん力をつけ見事に標準を突破した。掴み取った関西インカレの舞台を全力で走り抜いて笑顔で帰ってきてもらいたい。

(島村)

～長距離～

男子 5000m

男子 5000m には、いずれも M2 の足立、柴田、鈴木がエントリーする。実際の出場は得点の状況を見ながらになるが、ランキングでも上位を狙える位置に着けており、3 名とも十分に得点が見込める。押しも押されぬ京大のエースとして、自信をもって走ってきてほしい。

男子 10000m

男子 10000m には、いずれも M2 の柴田、鈴木、安本の 3 名がエントリーする。なお、安本は怪我のため棄権の予定である。ランキング上位の亀田(関大 4)、守屋(関学大 4)、中村(京産大 3)らを中心としたレースが予想され、スローペースになることもありうる。展開次第で順位が大きく変動する種目である。柴田は体調不良や怪我にたびたび見舞われつつも、大きな離脱なく練習を重ねてきた。ロードの部での雪辱を果たしたい。鈴木はランキング 7 位につけており、冬期に研究の都合で練習量が不足していたが、4 月に誰よりも走りこんで力を伸ばしてきた。1 人でも多くの選手に先着し、T&F の部 1 日目最終種目で翌日以降の京大に弾みをつける走りを期待したい。

男子 3000mSC

男子 3000mSC には、足立、柴田が出場する。柴田はランキング 1 位につけている。先日 9 分 04 秒の好タイムをマークした清水(立命館 2)との争いが予想されるが、優勝しか目指していない。足立は研究との兼ね合いの中でも練習を重ね、調子を戻している。資格記録以上のタイムで走れることは間違いなく、表彰台も射程圏内である。最終日の後半に差し掛かる中で行われるこの種目で、チームの目標達成に向け力走してほしい。

女子 5000m

女子 5000m には、小島(M2)、奥田(4)が出場する。京大陸上部から久しく出場の無かったこの種目では、非常にハイレベルな戦いが予想される。両者ともランキングでは下位に位置しているものの、高水準の練習をこなしており、更なる記録向上が望める。小島は怪我をしつつも練習を積み、スピードとスタミナを鍛えてきた。奥田は 3 月から何度も 5000m の標準突破にチャレンジし、最後の最後で標準記録を突破してきた。大学女子長距離界をリードする選手たちの胸を借りて堂々と走ってきてほしい。



今季好走を連発する小島(M2)

(尾原)

～競歩～

男子 10000mW

男子 10000mW には、平岡(M2)、尾原(4)、土田(1)が出場する。ランキング上での得点ラインは 47 分前後である。平岡は研究と競技の両立に苦戦しつつも、時間を見つけて練習を地道に重ねてきた。状態は上がりつつあるため、その勢いのまま得点を掴みたい。尾原の出場は得点状況によるが、最終日最初の種目で残留争いが予想される大学に差をつける歩きを目指す。土田は入部当初から関西 IC への出場を志願して出場を決めた。地力の高い選手である。この大舞台が大学初レースとなるが、気負わず堂々と歩いてほしい。

(尾原)

～跳躍～

男子走高跳

男子走高跳には 4 回生鴛原, 3 回生山中, 2 回生田中が出場する。

鴛原については春先調子が上がらず苦しんでいたが、最近になって本来の動きを取り戻してきた。京都インカレまでは膝と踵の故障に苦しんでいたが、京都インカレ後は関西インカレに向けて覚悟を決めて練習を積んできたので、本番では PB を更新し大逆転の大幅得点アップが期待できる。

山中についてだが、練習を順調に詰めている上に技術も大幅に進歩している。ランキング上では優勝は硬いので、まずは優勝を決めて、大会新などのボーナス点を狙って欲しい。

田中については、膝の不調で思うように練習が詰めていない期間が長くあった。しかし冬季練習では並々ならぬ練習量を積んできたはずである。PB を更新できたら入賞も見えてくるので、初めての関西インカレとなるが臆さずに自分のジャンプをしてほしい。

男子棒高跳

男子棒高跳には M1 黒川が出場する。黒川は研究や体との兼ね合いによりあまり練習を積めない難しい期間が続いていたが、そんな中でも着実に自分に必要な技術を見極めて記録を伸ばすための練習を重ねてきた。本人にとって人生最後の関西インカレになるので PB を更新して得点圏内に入るようなジャンプをしてほしい。

男子三段跳



主将という立場で挑む齋藤(4)

男子三段跳には4回生梶, 4回生齋藤が出場する。梶については左腰の痛みにより 4 月下旬からほとんど練習を積めてこられなかった。しかし学部生とし

て最後の関西インカレになるので、自分の人生の中で最高のパフォーマンスをし、トロフィーだけでなくボーナスも取る跳躍をしたい。

齋藤についてだが、関西インカレで得点をするために技術を大幅に向上させる練習を積んできた。得点までは少し距離があるように見えるが、本番の技術の噛み合い次第では表彰台も全く問題なく狙える位置にいる。主将としての意地を見せて、大幅にランキングを更新し、得点を取って帰ってきてほしい。

男子走幅跳

男子走幅跳には高橋(2)が出場する。学部生を代表する選手としてのプレッシャーもかかってくるころだとは思いますが、そんなものは捨て置いて、冬期の怪我をものともせず立ち上がってきたその力強さをみせてほしい。自身が出場する三つの種目の嚆矢となるこの種目でいい結果を出し、その後の 2 日間の勢いを生み出せればと思う。

(梶)

～投擲～

男子砲丸投、男子円盤投

男子砲丸投、円盤投には眞鍋が出場する。怪我のため出場するかは不透明である。今現在は疲労が抜け、エネルギーが溜まっている状態だと思うので、その力を関カレの舞台上で出し切るとともに楽しく投げてほしい。

女子砲丸投

女子砲丸投には篠田が出場する。まだ出場するかはわからないが、出場することになれば PB 更新を目指して頑張りたい。

女子やり投

女子やり投には篠田が出場する。周りを気にせず自分の投げをしたい。去年より成長した姿を見せられるように頑張りたい。

女子円盤投

女子円盤投には中芝が出場する。目標は 40m。投擲最終種目で緊張するとは思われるが、何としてでも 40m 投げてきてほしい。最終

種目で盛り上げてくれることを期待している。

(篠田)

③関西インカレ日程(抄)

第100回関西学生陸上競技対校選手権大会(T&Fの部)

2023年5月24日-27日(水-土)

於ヤンマースタジアム長居

T&Fの部【1日目】 5月24日(水) 開会式 10:15

トラック競技

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
11:25	女子	1500m	予選	小島(M2)、小坂(M2)、濱口(1)、奥田(京女4)
11:55	女子	400m	予選	齋藤(2)
13:00	女子	100m	予選	三好(4)
13:40	男子		予選	高田(3)
14:10	女子	100mH	予選	平岡(3)
14:50	男子	110mH	予選	酒井(M2)
15:15	女子	1500m	決勝	
15:35	女子	4×100mR	予選	森尾(4)→齋藤(2)→平岡(3)→三好(4)
16:05	男子		予選	藤田(M2)→高田(3)→高橋(2)→石原(2)
18:20	男子	10000m	決勝	柴田(M2)、鈴木(M2)、安本(M2)

投擲種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
11:00	男子	砲丸投	決勝	眞鍋(M1)

T&Fの部【2日目】 5月25日（木）

トラック競技

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
10:30	女子	110mH	準決勝	
10:50	女子	100m	準決勝	
11:20	男子		準決勝	
11:40	女子	400m	準決勝	
12:25	男子	1500m	予選	西川(3)
13:35	男子	110mH	決勝	
14:05	女子	100m	決勝	
14:25	男子		決勝	
14:40	女子	400m	決勝	
16:00	男子	1500m	決勝	
16:45	女子	4×100mR	決勝	
17:15	男子		決勝	

跳躍種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
15:30	男子	走幅跳	決勝	高橋(2)
15:40	男子	棒高跳	決勝	黒川(M1)

投擲種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
10:30	女子	砲丸投	決勝	篠田(3)

T&Fの部【3日目】 5月26日（金）

トラック競技

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
10:00	女子	200m	予選	三好(4)、齋藤(2)
12:00	男子	400mH	予選	岩崎(4)、高橋(2)
12:25	女子	800m	予選	小坂(M2)、小倉(2)
13:00	男子	800m	予選	平山(3)、阿部(1)
13:25	女子	200m	準決勝	
14:30	女子	4×400mR	予選	メンバーは現在協議中
15:20	男子		予選	益田(3)→高橋(2)→岩崎(4)→岩本(3)
16:30	男子	5000m	決勝	足立(M2)、柴田(M2)、鈴木(M2)

跳躍種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
14:30	男子	三段跳	決勝	梶(3)、齋藤(3)

投擲種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手				
10:30	女子	やり投	決勝	篠田(3)				

T&Fの部【4日目】 5月27日（土）

トラック競技

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
10:40	男子	10000mW	決勝	平岡(M2)、尾原(4)、土田(1)
11:40	表彰式			
13:00	男子	400mH	決勝	
13:15	女子	200m	決勝	
14:10	男子	800m	決勝	
14:40	男子	3000mSC	決勝	足立(M2)、柴田(M2)
15:05	女子	5000m	決勝	小島(M2)、奥田(4)
15:30	女子	4×400mR	決勝	
16:00	男子		決勝	

跳躍種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手
13:00	男子	走高跳	決勝	鴛原(4)、山中(3)、田中(2)

投擲種目

開始時刻	種目		ラウンド	出場選手				
12:00	男子	円盤投	決勝	眞鍋(M1)				
14:00	女子	円盤投	決勝	中芝(3)				

詳しいタイムテーブル及びスタートリストは関西学連ホームページの大会情報でもご確認いただけます。

⑤ 関西インカレロードの部結果

第100回関西学生陸上競技対校選手権大会(ロードの部)

於淀川右岸・西中島マラソンコース

2023年4月14日

順位	氏名	所属	記録	コメント
1	中村 光稀 (3)	京都産業大	1:07:24	
2	守屋 和希 (4)	関西学院大	1:07:41	
3	中田 千太郎 (3)	立命館大	1:08:39	
4	足立 舜 (M2)	京都大	1:09:09	
5	中尾 心哉 (3)	関西学院大	1:09:39	
6	坂東 壮琉 (3)	関西大	1:10:35	
7	石井 滉人 (4)	関西大	1:10:39	
8	木下 太成 (2)	京都産業大	1:10:46	
9	柴田 栗佑 (M2)	京都大	1:11:05	
10	水上 直人 (4)	同志社大	1:11:05	
11	武林 悠天 (4)	同志社大	1:11:47	
12	榎本 隆之介 (3)	立命館大	1:11:54	
13	秋山 翔太郎 (2)	関西大	1:12:09	
14	壬生 麟太郎 (3)	同志社大	1:12:30	
15	坂東 賢 (M1)	大阪大	1:13:34	
16	谷河 幸祐 (4)	大阪大	1:13:37	
17	清水 皓太 (3)	関西学院大	1:14:01	
18	城戸 裕登 (3)	近畿大	1:14:18	
19	大西 晟輔 (3)	大阪大	1:16:26	
20	村上 真矢 (4)	龍谷大	1:18:35	
21	樋口 航 (3)	近畿大	1:19:38	
	中辻 隼人 (4)	大阪体育大		DNF
	千坂 柊人 (4)	びわスポ大		DNF
	山本 真大 (2)	大阪体育大		DNS
	金高 哲哉 (2)	立命館大		DNS
	小嶋 郁依斗 (3)	京都産業大		DNS
	伴 遼典 (2)	龍谷大		DNS

関西学連ホームページでも大会結果等の詳細をご確認いただけます。



蒼穹ニュース 令和5年度 第1号
令和5年 5月19日発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部
編集者:白星祥吾(蒼穹ニュース担当副務)
写真担当:五十嵐聖・松本良平・三嶋友貴(写真係)

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>